

## 教育目標

自ら考え主体的に学ぶ生徒  
明るく思いやりのある生徒  
健康でよく働く生徒

学校だより「岩瀬ヶ森」



第 2 号

平成29年 5月 9日発行

須賀川市立第二中学校

☎75-2910

発行責任者：校長 高崎則行

## 校内体育祭のねらいに迫る生徒の姿

### 学級の団結さらに教師と生徒の一体感

4月21日(金)に開催した校内体育祭には、大勢の保護者・ご家族の皆さんに応援いただき、たいへんありがとうございました。この行事のねらいは、①協同・団結・責任の態度を育てる ②体力・気力の充実を図る ③企画・運営力を養う、の3点にあり、保健体育の授業での練習の様子を見て、すでに徐々に高まっていることを感じていました。それが、この日最高潮になったと思います。



競技は、「クラス全員リレー」から開始しました。1年生の様子を見て、一人残らずという意味で、全員が全力で走っていることに爽快感を感じました。2年生も一人一人が全力で疾走していたのはもちろんです。さらに、順位が発表されている時に1位から8位までのどのクラスも歓声を上げて喜んでいるのが素晴らしいと思いました。3年生は、さすがにバトンゾーンの使用方が格段に上手でした。少しでも前の走者のスピードを落とさずにバトンを受け取ろうとしていることがハッキリと分かりました。リオデジャネイロのオリンピック男子4×100リレーでの銀メダル獲得の鍵もバトンパスにありました。この点を1年生から工夫すると、さらに団結力が高まり、競技自体ももっと白熱するのではないかと楽しみです。

ボール運び、ベストメンバーリレーと種目が進むにつれて、私には別の視点で興味深い様子が見えるようになってきました。自分

のクラスの優劣によって、飛び跳ねて喜んだり、声援したりしている生徒の中に、行動を共にしている担任の姿を発見したのです。さらには、トラック内の対角線上を何度も往復しながら声援を送っている担任もいます。バトンゾーン付近には、走者が替わる度に気合を入れている担任がいます。生徒の陣頭に立って応援の音頭を取っている担任も……。一人一人とつながり、気持ちを高め、一体感を紡ごうとしている生徒と教師の姿が見えてきたのです。



午後からの出張のため、最終競技の長縄跳びの途中で会場を



後にしました。その大声援の中から、私の耳は、「(1位でなくても)めっちゃ嬉しい」「最後まであきらめな」「だいじょうぶ、頑張った」という生徒の声を拾っていました。



# Enjoy できた

## 「協力・学び・安全に」修学旅行

4月10日(月)から12日(水)まで、3年生は2泊3日の修学旅行を、協力して、よく学び、かつ安全に終了することができました。遅ればせながら、概要を紹介します。

### 【第1日】

新幹線で東京駅に、乗り継いで鎌倉へ。その後班別自由行動で、横浜集合。夕食は中華街でバイキング。



### 【第2日】

バスで国会議事堂へ。その後都内を班別自由行動。夜は、劇団四季の「ノートルダムの鐘」を見て、感激。



### 【第3日】

ディズニーランドとシーに分かれて、「夢と魔法の国」を満喫。バスで、コックリコックリしながら帰校。



「時間に遅れない」など、2年生の時の反省点を改善できたと、学年の先生から及第点が出ました。禁止されている場所でガムをかんだり、持ってきてはいけないものを持ってきたりした生徒が(ごく数名でしたが)いたのは残念でした。

## 校内体育祭の成績

(注) ○に数字は、順位です。

### 1年生

ボール回し ①5組 ②1組 ③7組  
長縄・連続 ①7組 ②5組 ③6組  
長縄・総数 ①7組 ②5組 ③1組  
全員リレー ①7組 ②4組 ③1組  
男ベストリレー ①4組 ②1組 ③5組  
女ベストリレー ①1組 ②4組 ③6組  
総合順位 ①1組と7組 ③5組 ④4組  
⑤3組 ⑥6組 ⑦2組

### 2年生

ボール回し ①8組 ②5組 ③7組  
長縄・連続 ①4組 ②6組 ③5組  
長縄・総数 ①5組 ②4組 ③6組  
全員リレー ①2組 ②3組 ③4組  
男ベストリレー ①5組 ②3組 ③2組  
女ベストリレー ①8組 ②4組 ③5組  
総合順位 ①5組 ②4組 ③8組  
④3組 ⑤2組 ⑥6組 ⑦7組 ⑧1組  
※特別支援学級も2年生と一緒に競技し、健闘しました。

### 3年生

ボール回し ①6組 ②1組 ③7組  
長縄・連続 ①6組 ②7組 ③5組  
長縄・総数 ①6組 ②7組 ③5組  
全員リレー ①6組 ②7組 ③4組  
男ベストリレー ①4組 ②5組 ③2組  
女ベストリレー ①2組 ②6組 ③4組  
総合順位 ①6組 ②7組 ③5組  
④2組と4組 ⑥1組 ⑦3組

## ことばの力②—「入魂の練習、闘魂の試合」—



千葉県の日大習志野高校は、かつて全国的に知られた野球の名門校。校庭の一角に「入魂の練習、闘魂の試合」という言葉が刻まれた石碑があります。近年では、TVで紹介された影響もあって、吹奏楽部の方が有名でしょうか。

めあてを持って気持ちを込めた丁寧な練習・準備をする。戦う姿勢を前面に出して試合に臨む。練習では「入魂」のスイッチを、試合では「闘魂」の心のスイッチを、自ら入れることができる選手であってほしい。これは、何も野球に限ったことではありません。TVで見るかぎり吹奏楽部からもそんな姿勢を感じることができるのです。

5月11日(木)は、岩瀬支部陸上競技大会。支部総合体育大会は、5月31日(水)、6月1日(木)。大会の雰囲気や飲まれたり、周囲の人に左右されたりすることなく、2つの心のスイッチを自分でコントロールして、心に迷いのない状態でベストのパフォーマンスをしてほしいと強く期待しています。



この学校だよりは、本校HP(からもご覧いただけます)。